

Cross-cultural Engineering Project (CEP)の実施

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月08日 ～2019年07月19日	ポルトガル	リスボン新大学工学部 キングモンクット工科大学 トンブリ校 チェンマイ大学	<ul style="list-style-type: none"> ・システム理工学専攻、電子情報システム学科、機械制御システム学科、環境システム学科、数理科学科、生命科学科、機械工学専攻 ・学部4年生、修士1年生、修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生21名、TA3名、教員3名 (リスボン新大学工学部) 学生12名、TA3名、教員2名 (キングモンクット工科大学トンブリ校) 学生2名、教員1名 (チェンマイ大学) 学生2名	長谷川 浩志(機械制御システム学科)、渡邊 大(機械制御システム学科)、吉村 建二郎(機械制御システム学科)



図1

リスボン新大学工学部にて、Cross-cultural Engineering Project (CEP)を実施した。CEPは、多文化・多分野混成によるシステム思考に基づく総合的問題解決のためのGlobal PBLである。EU地区はイノベーション創出が目的である。参加学生は、協定校の他にスペインのUniversidad de Navarra, Tecnumからの2名を含めた37名、6チーム構成である。イノベーション創出のために、魅力的品質の実現を目標とした感動品質と把握プロセス、QFDを導入、矛盾解決策を導出する方式とした。試作をしたことから、よく考えられた提案が多く、好評を博した。



図2



図3



図4



図5



図6